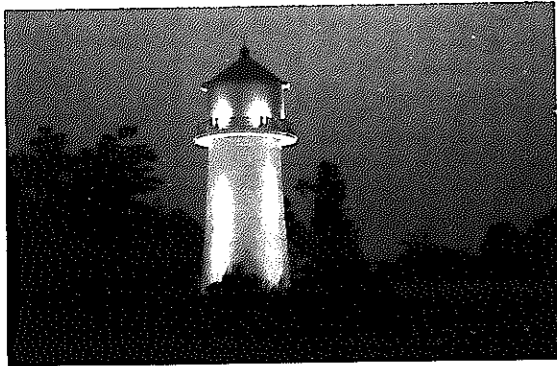


# TALK & TALK

## 市民談話室



弥彦山に日が沈み、配水塔のシルエットが宵闇に浮かび上がった。六時四十分、塔にライトが灯りました。お花見期間中、配水塔がライトアップされるとのことです。心待ちにしていたのですが、しばらくは寒の戻りか、毎日低温続きで、桜のつぼみも開くすべもありません。わが家は塔の真向かいに位置し、程よい距離で台所から全貌が見えます。六時三十分、夕食の支度をしようとして台所に入ったのですが、今日こそは点灯の瞬間を見ようと、待つこ

### 配水塔のライトアップ



小林キミイ (諏訪木5)

私たちは第二回デュアスロン大会を六月二十日、中ノ口川堤防(白根、新飯田間)で開きます。昨年の第一回大会は十一月一日、雨の中、ボランティア五十五人、選手八人で盛大に(2)行いました。それにもめげず今



市トライアスロン協会 会長 石黒修吉 (下町乙)

明かりを見つめた一夜でした。

デュアスロン大会の開催について  
私共が主催するデュアスロン大会は、だれでも楽しく参加できる市民レベルの練習大会です。しかしまだ新しい競技のため、役員や指導者、大会運営のボランティアが大変不足しています。二十一世紀へのスポーツとして、市民の皆様のご理解と温かいご協力、ご支援を切にお願い申し上げます。六月二十日には全国から多数の人々が集まります。市民の皆さんと友情を深め、温かい触れ合いができることを期待しています。

ボランテアの方々はその日新飯田中学校で、朝七時三十分から受け付けています。競技終了は正午です。市民の皆様のご協力をお待ちします。

年ほどトライアスロンシーズン直前の六月二十日とし、スポーツ雑誌に掲載したところ、全国から多数の愛好者が応募してきています。デュアスロン競技はトライアスロン競技(自転車、水泳、マラソン)から派生した新しいスポーツで、最初にマラソン五キロ、再度五キロの乗り換えで三十キロ、再度五キロのマラソンを走り、合計タイムを競うスポーツです。トライアスロンは最初に一・五キロの水泳が入りますが、本市のように海を持たない地方では、このデュアスロン競技が近年広く開催されるようになってきました。

近年スポーツ活動も二極化の時代に入り、マイペースで身体活動を楽しむクラスと、自己の可能性へのチャレンジと記録への挑戦を目標に毎日トレーニングを重ねているトライアスリートへと、二分化への傾向が強くなっています。

私が主催するデュアスロン大会は、だれでも楽しく参加できる市民レベルの練習大会です。しかしまだ新しい競技のため、役員や指導者、大会運営のボランティアが大変不足しています。二十一世紀へのスポーツとして、市民の皆様のご理解と温かいご協力、ご支援を切にお願い申し上げます。六月二十日には全国から多数の人々が集まります。市民の皆さんと友情を深め、温かい触れ合いができることを期待しています。

# TALK & TALK

## 市民談話室



安達三枝子 (三の町)

### 優しい心と 思いやり

まだだれも起きていないある日の朝のこと。私がいつものようにごみを出して、何げなく道路を見ていたとき、上の方から乗用車が走ってきたかと思うと、突然パーンと音がしました。猫が車にはねられたのです。まだビクビク動いていました。すると車が止まり、中から若いサラリーマン風の男の人が降りて、一生懸命、猫の手足をなでてやっていたのです。血まみれの猫を道路わきに移し、帰っていくのだらうと思いましたが、今度は車のトランクを開けて何か持ってきた様子。ビニール袋でした。猫を抱いて袋に入れ、トランクの中に入れていました。家へ連れて帰って介抱し、もしも死んだら葬ってやるうと思つたに違いありません。だれも知らぬ顔をして走り去っていく場面でしょう。特に早朝ということもあり、貴重な時間です。「こんな方もいるんだ」と思うと、そばに走り寄り、「街の方ですか?」「いいえ」「どこまでなさるといふことは、とても思いやりのある心の優しい方ですね」心の底から言葉が走り出しました。男の人は目に涙が浮かべ、「私も猫を飼っているのです。かわいそうで」と、うつむいて帰られたのです。きっと家庭でも優しく思いやりのある人なのでしょう。



笹川幸市 (中央通1)

### バブルのついで 高齢者に回すな

不況の打開策としてこの二年間、公定歩合が六回も引き下げられ、それに伴って預貯金金利も六回引き下げられた。この影響をもちに受けているのは、年金に頼っている高齢者である。言うなればバブル崩壊のついでに高齢者に回されたようなものだ。そもそもバブル現象を作り出したのは、中央の金融証券会であり、財界ではないか。それに相乗した不動産企業が、金もうけに狂奔したのである。

バブルがはじけ、不況騒ぎを招来したが、本来バブル時代が異常であったが、不況といわれる現在がむしろ正常といえよう。言い換えれば地価の騰貴が止まり、地上げ屋は鳴りを潜め、人々は浪費をやめてモノを大切にすることを堅実な考え方がなってきた現在こそが、まともな時代なのである。

「口先だけの「高齢者福祉」を唱え、実際は強きを助け、弱きをくじくような政策をとってはならない。」



小湊ヒロ口 (日の出町)

### 私の夢 小劇場があつたら

二月五日、県民会館で前進座公演「怒る富士」を見、主演の嵐圭史らの演技に心奪われた二時間。現代の政治にも通じるものを感じました。演劇好きの私は年に数回、観劇に新潟へ出かけます。ストレスを解消し、働く元気が出ます。しかし、劇が終わりたあと、帰路の足と時間が心配になり、不便さを痛感します。子供のころ桜町に白根座という劇場があり、家族に連れられてよく行きました。戦後は映画が主になりましたが、随分通いました。街も活気があつたように思います。劇場も消え、現代は車社会となり、街も寂しくなりました。白根町が市になり、道路などは発展しましたが、心の部分は遅れているように思われます。市民が自主運営する市営の小劇場があつたら、活性化にもなり、中央の一流の演劇の上演も夢ではありません。また、演芸や芸能など、若い人からお年寄りまで楽しめる劇場があれば、生活に彩りと張りあがります。人の心に優しいが、街の中に人が戻つたら、どんなに心豊かに暮らせるのか。演劇をメインとする幅広い舞台装置の完備した「立派な小劇場のある白根市」がキャッチフレーズになるような小劇場が、白根市に欲しいと夢見ている私です。

### 市民文芸

- 俳句
- 農耕車優先道路春吹雪 山田 孝
  - 種籾を産湯つかはすこと浸す 成沢 素明
  - 春愁やいつか煙草の消えてをり 公條 雪夫
  - 囀に村の静かさありにけり 堀内ナナ子
  - 立ち読みの健康雑誌山笑ふ 樋口 トシ
  - 山の辺の道も椿の盛りとや 細貝 漢子
  - 留守番のうつら〜と春炬燵 小林 すみ
  - 菜の花の黄色の和むナース室 豊木サグ子
  - うららかなや海見ゆる窓開け放つ 和泉 伸子
  - (以上大風念)
  - 菜種梅雨かざして和紙のうら表 小林富沙子
  - 菜種梅雨乾くことなき三和土間 真鳥つぎえ
  - 菜種梅雨暈の輪にある宵の月 間島喜代子
  - 鎌鍛冶の槌音くぐもる菜種梅雨 小林 なお
  - 時間止まれ予と酌み交す木の芽和 田中美根子
  - 木の芽和年ごと疎遠に兄いもうと 名古屋倉宮
  - はざと言ふ昔がありぬ田母木の芽 丸山 虚秋
  - 菜種梅雨この頃多きひとり言 塚本 静子
  - 行商にねばられてある菜種梅雨 間島 秀穂
  - (以上かまつか新飯田俳句会)
  - まず仏に供えて食す草の餅 玉木 長吉

### 短歌

- 犬連れし健康散歩かラジオの声 晴れ渡る今日も元気の姿 長谷川久二
- 旅の宿おもしろテレビこちて見る チャンネル何処よと八十一の婆らや 小出熊四郎
- 何処にか鶯の声きこへくる 小出よし
- 出て来て頂へよ梅の小枝に 小出よし
- 暁月中天にあり朝清し 中村 京
- かすかなる東風早苗をゆする 中村 京

### 川柳

- 百才を指す意欲の日の歩み 山岡 フミ
- 割り勘の酒はロマンの味を消す 織田 福治
- 肩書のない割り箸が落ちつかず 織田 セツ
- 恥ひとつかいて身に着く知恵袋 後藤マサノ
- 老い深しコロリ観音信じ切る 佐藤トミノ
- 面影をあたためて居るいい日和 佐藤 ヨキ
- おのみやす微笑む舞妓に若返る 高橋祐四雄
- 割り勘でも先輩の見栄首もたげ 竹石 甚五
- 早乙女の面影くたく耕運機 田村 恒夫
- 御立ら酒堆朱の瓶に薫る華 中村 尚治
- 飯、風呂の決まり文句で足る夫婦 西条ムラ
- 割り勘に愚痴がこぼれる下戸の酒 早川 英男
- 年金でじよんのびじよんのび旅の風 吉川 彰
- 呂 妻からの借金みんな忘れてる 米野 光雄
- 能面の裏に刻んだ笑い皺 今井 七郎
- 古希祝い孫に嬉しく眺まれる 大井 義雄